

一般国道45号 高田バイパスの 交通事故対策を実施しました

今年度、一般国道45号高田バイパスの国道340号交差点～海と貝のミュージアム前間において交通事故対策の工事を行い、平成22年2月上旬に完了しました。

この地区におきましては、沿道に店舗や道の駅等の公共施設が連担し、国道からの出入りによる追突事故等が多く見られるため、沿道地区の代表や市、警察、国による検討会を実施し、地域の方々の意見を踏まえて対策を行いました。対策内容は、右折待ちの車両と後続車のすれ違いに配慮した「待避ゾーン（幅2.0m）」を車道中央にほぼ全線にわたり設置しました。また路面標示や標識による注意喚起も実施しました。

今回の事故対策については、3月23日開催の『国道45号「三本松・下宿」間交通安全対策検討会（第3回）』により現地で検討会を行う予定です。

右折待ちの際は「待避ゾーン」をゼブラの中に入って有効に活用して頂き、安全確認のうえ右折をお願いします。



発表記者会：大船渡記者クラブ

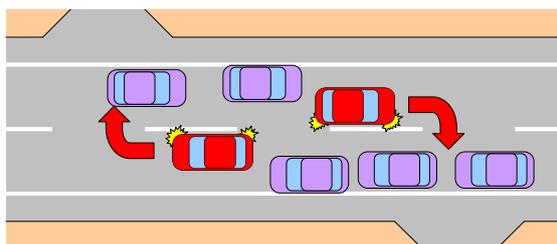
【問い合わせ先】

国土交通省 東北地方整備局 三陸国道事務所 大船渡維持出張所
所長 五^{いつ}日^{いち}市^{わたる} 巨

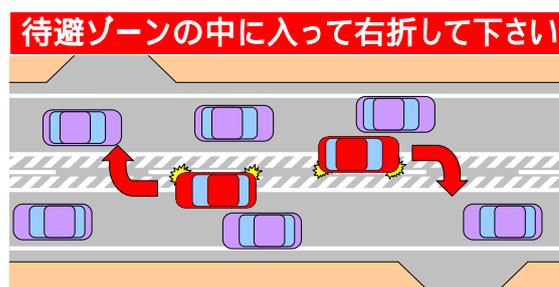
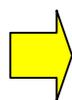
電話 0192-26-5356

今回の事故対策内容

待避ゾーンの設置



待避ゾーン整備前



待避ゾーン整備後



待避ゾーン



待避ゾーン利用状況

その他の事故対策



標識(追突注意)



路面標示(追突注意、ドットライン)



右折レーン新設



右折車誘導ライン、交差点中心標示

【参考資料】
平成21年度に実施した交通事故対策

